

浦安市自治会連合会

設立 60周年記念

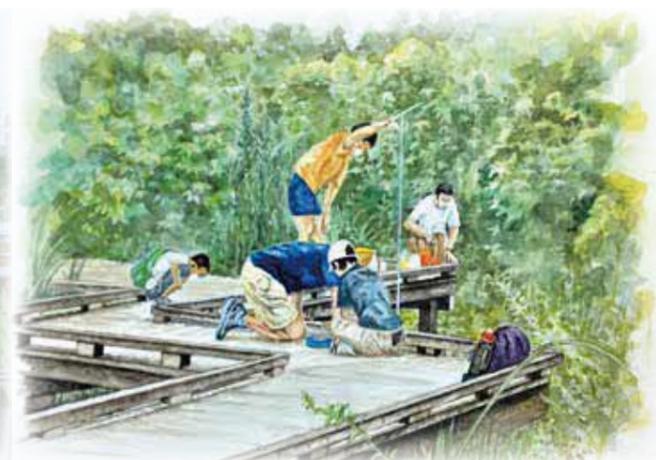
手から手へ つなごう自治の輪 絆の和



浦安市自治会連合会



(2013年撮影：浦安市提供)





目次

- P.3. 連合会会長挨拶「設立60周年を迎えて」
浦安市長挨拶「設立60周年を祝して」
- P.4. 年表でみる自治会連合会60年のあゆみ
- P.6. 自治会連合会60年のあゆみ
- P.8. 自治会連合会の活動紹介
- P.11. 歴代会長／
60周年記念事業の推進体制



設立60周年を迎えて

浦安市自治会連合会 会長
石川 正純

浦安市自治会連合会が設立60周年を迎えるにあたり、各自治会の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当連合会は、昭和38(1963)年に9自治会で設立され、以来、地域に住む人々の努力により現在では83自治会で連合会を構成し、納涼盆踊り大会や火の用心を呼び掛ける運動などを通じ、地域に密着した団体として活動しています。

平成23(2011)年の東日本大震災では、市は液状化により甚大な被害を受けましたが、自治会同士、住民同士でお互いに助け合う「共助」の精神と活動が再認識されました。

また、令和2(2020)年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で自治会まつりなどのイベントも自粛され、自治会活動を取り巻く環境は厳しいものとなっている中、各自治会の皆様には回覧板の電子化や情報通信機器を活用した連絡網など新しい試みを取り入れ、地域に住む人々のために活動していただき感謝申し上げます。

当連合会においても、こうした事例を情報共有し、自治会が抱える共通課題を協議するとともに、市や関係団体等のご協力をいただきながら、会員相互の連携と親睦を図り、地域コミュニティの活性化に寄与してまいりたいと考えています。

結びに、関係各位の皆様のご指導ご支援に対し、改めて感謝と敬意を表するとともに、60周年を迎える本年をスタートに自治会が地域の中核となり、安全・安心で魅力ある地域づくりを推進できるよう、今後とも格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



設立60周年を祝して

浦安市長
内田 悦嗣

浦安市自治会連合会が設立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

60年という伝統と歴史の中で、歴代の会長や役員の皆様をはじめ会員の皆様方には、地域課題の解決や地域コミュニティ活性化への取り組みに多大なご尽力をいただきまして、深く敬意と感謝を表します。

昭和38(1963)年に9つの自治会により設立されました「浦安町自治会連合会」は、本市の急速な都市化による人口増加に伴い、60年を経た現在、83の自治会を擁するまでになりました。

この間、浦安市自治会連合会が各自治会の連絡調整や市との連携・協力にご尽力されたことは、地域住民の福祉の向上や地域コミュニティの醸成に大きく寄与されたものと考えます。

近年、ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化などにより地域コミュニティを取り巻く環境が変化している中、市の基本目標のひとつである「誰もが健やかに自分らしく生きられるまち」を築いていくためには、各自治会の力が不可欠であることから、今後も貴連合会との連携を深め、一体となって地域づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、設立60周年を迎えられた浦安市自治会連合会のさらなるご発展と、会長、役員の皆様をはじめ会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます、お祝いのご挨拶といたします。

年表でみる自治会連合会60年のあゆみ



自治会連合会のあゆみ

浦安のあゆみ

自治会連合会の発足(5月) 第1区自治会、第2区自治会、 第3区自治会、第4区自治会、 第5区自治会(猫実東)、 第6区自治会(猫実三丁目)、 第7区自治会(猫実四丁目)、 第8区自治会、第9区自治会 (第九区)、自治会連合会加入 (5月)	昭和38年 (1963)	
・海楽パークシティ自治会加入(2月) ・富士見二丁目自治会加入 (4月) ・まちをきれいにする運動 がはじまる	昭和56年 (1981)	・浦安市誕生(人口65,662人) ・市制施行・市民憲章制定 ・文化会館が開館 ・第1次住居表示実施(猫 実・当代島・北栄)
・浦安初の中央公民館が開館 ・北部土地改良事業が完成、 後の「北栄」の字になる	昭和39年 (1964)	
・「東野」「富岡」「今川」 「弁天」「鉄鋼通り」誕生	昭和43年 (1968)	
・人口2万人を突破 ・地下鉄東西線が開通 ・海面埋立地に浦安鉄鋼団地が完成 ・南部土地改良事業が完成	昭和44年 (1969)	
・漁業権の全面放棄を決定 ・「海楽」「美浜」「入船」誕生	昭和46年 (1971)	
・富岡自治会加入(5月)	昭和47年 (1972)	・「富士見」誕生
・第十区自治会加入(11月) ・第1回納涼盆踊り大会開催	昭和48年 (1973)	・町議会、基本構想を議決 ・浦安初の町立当代島保育 園が開園
・浦安町消防本部、同消防署が開設 ・老人福祉センターが開館	昭和49年 (1974)	
・入船自治会加入(4月) ・海楽南自治会加入(4月) ・夜間路上禁煙運動が始まる	昭和50年 (1975)	・人口3万人を突破 ・若潮交通公園が開園 ・第1期埋立事業が完了、 「舞浜」誕生
・鉄鋼通り自治会加入(10月)	昭和51年 (1976)	・第1回産業まつりが開催
・東野自治会加入(9月) ・見明川自治会加入(12月)	昭和52年 (1977)	・オリエンタルランド交通の バス路線開通 ・浦安町営東野プールが完成
・今川団地自治会加入(5月) ・今川自治会加入(7月) ・サンコー浦安自治会加入(12月)	昭和53年 (1978)	・首都高速湾岸道路の一部開通 ・「日の出」「明海」誕生 ・新浦安橋が開通(1期工事)
・パークシティ弁天自治会 加入(2月) ・さつき苑自治会加入(10月)	昭和54年 (1979)	・人口5万人を突破 ・総務課内にふるさと係を 設置(4月1日) ・第1回納涼花火大会開催 ・「港」「千鳥」誕生
・美浜東エスレート自治会 加入(1月) ・富士見三丁目自治会加入(5月) ・弁天自治会加入(5月) ・入船中央エスレート 自治会加入(6月)	昭和55年 (1980)	・人口6万人を突破 ・「高洲」誕生 ・ふるさとづくり推進協議会 が設立 ・郷土資料館が開館



・入船西エスレート自治会 加入(4月) ・美浜西エスレート自治会 加入(9月)	昭和58年 (1983)	・人口8万人を突破 ・中央図書館が開館 ・葛南警察署が開署 ・東京ディズニーランドが開園 ・浦安駅前行政サービスセンターが開所 ・第3次住居表示実施(海楽・ 富岡・今川・弁天・鉄鋼通り)
・入船東エスレート自治会 加入(4月) ・美浜16自治会加入(4月) ・舞浜ローズタウン自治会加入(4月) ・コモシティ浦安自治会加入(4月) ・美浜三丁目自治会加入(4月) ・北栄三丁目自治会加入(7月) ・北栄四丁目自治会加入(7月)	昭和59年 (1984)	・浦安市基本構想策定 ・順天堂浦安病院が開院
・パークシティ舞浜自治会加入(3月) ・入船北エスレート自治会加入(7月) ・ライオンズマンション浦安自 治会加入(8月)	昭和61年 (1986)	・浦安在住外国人会が設立
・富岡エスレート自治会加入(3月)	昭和62年 (1987)	・人口10万人を突破 ・浦安市国際交流協会が設立 ・第4次住居表示実施 (入船・美浜・舞浜の一部)
・日本航空浦安社宅自治会加入(4月) ・高洲自治会加入(4月) ・堀江橋自治会加入(4月) ・エル・シティ新浦安自治会 加入(6月)	昭和63年 (1988)	・総合福祉センターが開設 ・浦安郵便局が開局
・入船リバーサイド自治会 加入(3月)	平成元年 (1989)	・人口11万人を突破 ・浦安誕生100周年を迎える ・オーランド市で姉妹都市 提携を結ぶ
・ベイシティ浦安自治会加入(5月) ・海風の街自治会加入(9月)	平成3年 (1991)	・市制施行10周年、新市章制定 ・中央武道館が開館 ・第1回東京ベイシティ浦 安ハーフマラソンが開催
・舞浜三丁目自治会加入(7月)	平成4年 (1992)	・商工会議所が設立 ・墓地公園が開園
・浦安高洲県営住宅自治会 加入(4月) ・自治会連合会設立30周年	平成5年 (1993)	・新浦安駅前行政サービス センターが開所
	平成6年 (1994)	・舞浜駅前行政サービス センターが開所
	平成7年 (1995)	・クリーンセンター(ごみ処 理施設)が稼働 ・七都県市合同防災訓練開催 ・運動公園総合体育館が開設
	平成8年 (1996)	・神明橋完成



・潮音の街自治会加入(5月) ・夢海の街団地自治会加入 (6月)	平成9年 (1997)	
・日本生命浦安社宅自治会 加入(5月) ・コープ野村浦安自治会加 入(12月)	平成10年 (1998)	・「世界に開かれたまち」 自治大臣表彰受賞 ・第1回市民まつり開催
	平成11年 (1999)	・ピーナスプラザが開館 ・健康センターが開設
	平成12年 (2000)	・「人が輝き躍動するまち・浦 安」新たな総合計画を策定 ・高洲海浜公園が開園
・ベイシティ新浦安自治会 加入(3月) ・住友商事新浦安寮自治会 加入(3月) ・コスモ新浦安東京ベイ 自治会加入(4月) ・海園の街自治会加入(7月)	平成13年 (2001)	・市制施行20周年 ・郷土博物館が開館 ・浦安市基本計画策定 ・東京ディズニーシー市民招待
・第1区、第2区、第3区、第 4区自治会が丁目に合わせて 堀江一丁目、堀江二丁 目、堀江三丁目、堀江四丁 目、堀江五丁目自治会に区 域と名称を変更(4月) ・グランファースト新浦安自 治会加入(5月)	平成14年 (2002)	・東京ディズニーランドでの 成人式が始まる ・青少年館が開館 ・子育て支援センターが開設 ・おさんぽバス医療セン ター線の実証運行開始
・パークシティ新浦安自治 会加入(5月)	平成15年 (2003)	・ピーナス計画が日本PR大 賞グランプリを受賞 ・中央図書館が「子どもの読 書活動優秀実践図書館」 として支部大臣表彰 ・障がい福祉センターが開設
・セレナヴィータ新浦安自 治会加入(2月) ・ラディアンコースト新浦安 自治会加入(3月) ・川崎重工業新浦安社宅自 治会加入(3月) ・レジアスフォート新浦安自 治会加入(7月) ・アールフォーラム新浦安自 治会加入(8月)	平成16年 (2004)	・人口15万人を突破 ・「健康うらやす21」策定 ・八都県市合同防災訓練 開催
・碧浜自治会加入(3月) ・エアレジアン新浦安オーナ ーズクラブ自治会加入(4月) ・望海の街自治会加入(9月) ・自治会連合会シンボルマーク 制定 ・自治会連合会だより創刊 ・自治会連合会ホームページ開 設	平成17年 (2005)	・明海の丘公園が開園 ・斎場が開設 ・青少年交流活動センター 「うら・らめ〜る」が開設
・シーガーデン新浦安自治 会加入(4月) ・ラ・フィネス新浦安自治 会加入(5月) ・パークシティ東京ベイ新浦 安SOL自治会加入(6月) ・パークシティ東京ベイ新浦 安Sea自治会加入(6月) ・パークシティ東京ベイ新浦 安Coco自治会加入(6月)	平成18年 (2006)	・市制施行25周年 ・指定ごみ袋制がスタート ・新浦安駅前プラザ「マー レ」が開館 ・総合公園が一部開園 ・市制施行25周年記念「浦 安よさこいソーラン祭り」 開催



・モアナヴィラ新浦安自治 会加入(5月) ・猫実四丁目自治会が功労 ボランティア団体表彰	平成19年 (2007)	・おさんぽバス舞浜線の実 証運行開始
・パークシティグランド新浦 安自治会加入(7月)	平成20年 (2008)	・人口16万人を突破 ・総合公園が全面開園
・プラウド新浦安自治会加入(6月)	平成21年 (2009)	・うらやす市民大学が開校
	平成22年 (2010)	・国際会議観光都市(コンベン ションシティ)に認定 ・生涯スポーツ健康都市宣言
	平成23年 (2011)	・市制施行30周年 ・東日本大震災で甚大な液 状化被害
・プラウド新浦安パームコー ト自治会加入(6月)	平成24年 (2012)	・浦安市復興計画を策定
・自治会連合会設立50周年	平成25年 (2013)	・市内で本格的な復旧・復 興工事が始まる
	平成26年 (2014)	・浦安誕生125周年 ・浦安市とオーランド市が 姉妹都市提携25周年
・プラウド新浦安マリナテラ ス自治会加入(7月)	平成27年 (2015)	・運動公園陸上競技場が開設 ・土地区画整理全国大会で 会長賞を受賞
	平成28年 (2016)	・市制施行35周年、市役所 新庁舎が竣工 ・市役所でパスポートの申 請・受取がスタート
・ジ・アイルズ自治会加入 (12月)	平成29年 (2017)	・運動公園野球場が開設 ・浦安市初の名誉市民が決定
	平成30年 (2018)	・浦安まちづくり3か年計画 を策定 ・おさんぽバスじゅんかい線 の運行開始
・タイムスタウン新浦安自 治会加入(11月)	令和元年 (2019)	・浦安誕生130周年 ・「人が輝き躍動するまち・ 浦安へすべての市民の幸 せのために〜」新たな総合 計画を策定
	令和2年 (2020)	・国内で初めて新型コロナウ イルス感染者を確認 ・東野地区複合福祉施設 「東野パティオ」が開設
	令和3年 (2021)	・市制施行40周年 ・浦安市特別表彰の創設
	令和4年 (2022)	・三番瀬海岸観水施設の整備 ・浦安市ワクチン接種セン ターが開設
・自治会連合会設立60周年	令和5年 (2023)	・浦安市PR大使が就任 ・浦安海岸明海・日の出地 区護岸の全面開放 ・市制施行40周年・千葉県 誕生150周年記念式典及 びパレードの開催

自治会連合会60年のあゆみ

昭和37年
(1962)

自治会発足のあゆみ

自治会等の歴史をたどってみると、その多くは明治22(1889)年の「市制・町村制」法の施行に源をもっていますが、政治・行政の上で自治会が全国的に位置付けられたのは、昭和15(1940)年の内務省訓令以後となります。

当時、浦安町においても、部落会は実質的には行政の末端機構として機能していましたが、戦時体制に切り替えられると、名実ともに市町村行政の補助的末端機関となり、町民の日常生活に欠かせない部落会も、昭和22(1947)年には解散を命じられて廃止となりました。しかし当時は、町の伝達事項などはことごとく部落会を通じて行われており、廃止による町民への影響が大きいことから、それまでの部落会組織を活用し、消防の協力団体として昭和22年8月に「浦安町消防協力会」を発足。災害予防や伝達事項などを受け継ぐことになりました。さらに、昭和24(1949)年4月「連合班部落自治協力会」と名称が改められましたが、特に同年8月に本町を襲ったキティ台風の時には、組織を挙げて援助物資の配布や堤防復旧工事への協力など、めざましい活躍ぶりでした。

部落自治協力会の活動は、行政への協力など大きな成果を挙げてきましたが、地区ごとに計画を立てて実施していたことから、住民の負担に統一性がみられないため昭和26(1951)年11月、全町の連合班を統一し、「浦安町自治協力会」と称して発足することになりました。

昭和38年
(1963)

昭和47年
(1972)

自分たちの力で、住みよい地域社会の建設へ

浦安町自治協力会は、昭和26(1951)年に発足以来、住民の相互扶助、生活の簡素化などに取り組み、さらに自治の本旨に則り“自分たちの地域は自分たちの力で住みよい地域社会の建設へ”という機運の高まりから、各区の連合班がその地域の特性に応じて諸活動を実施することになりました。昭和38(1963)年5月、9つの連合班すべてが「第〇区自治会」とその名も改め活動を開始しました。同時に、各自治会の相互親睦を図るとともに、その連絡調整機関として「浦安町自治会連合会」を発足しました。

その後、海面埋め立て土地造成事業に伴う行政面積の拡大で、昭和47(1972)年5月には、歴史のある行政区域以外で初めて埋め立て地に自治会が設立され、内陸地では昭和44(1969)年の地下鉄東西線の開通等により、猫実北部地区の市街化が進みさらに自治会が設立され、自治会ごとに自治会連合会に加入しました。

昭和48年
(1973)

昭和57年
(1982)

住民相互のふれあいの場づくり

自治会連合会は、昭和38(1963)年5月に設置されてから、自治会ごとに行われていた行事の合同開催や自治会関係者の表彰式、夜間路上禁煙駅前キャンペーンなど、様々な事業を実施してきました。中でも昭和48(1973)年には、それまで各地区で行っていた盆踊り大会を連合会の主催で開催し、以来、毎年夏の恒例行事として定着しています。

また、現UR都市機構や民間による住宅開発が進み、昭和52(1977)年に入居が開始されてからは人口急増に拍車がかかり、昭和48(1973)年以降10年間で新たに23の自治会が設立されました。このような状況の中で、住民相互のふれあいを目的とした活動の必要性が高まるなど、自治会活動の様相も大きく変化してきました。

市でも活動の拠点となる施設整備を計画的に進めています。なお、昭和50(1975)年度から自治会連合会の正副会長は、各地区の自治会長の互選により選出することになりました。

昭和58年
(1983)

自治会相互の親睦をめざして

大規模な住宅開発により人口がさらに増え続け、昭和58(1983)年以降多くの自治会が設立され、平成5(1993)年度に54、平成24(2012)年度に81、現在は83の単位自治会により自治会連合会が構成され、活動しています。

各地区の自治会では、住民相互の連携や地域の親睦の輪の広がりを目的に、自治会まつりやサークル活動などのソフト事業を積極的に展開しています。

また、連合会では、自治会相互の意見交換会や納涼盆踊り大会のほか、「火の用心」を呼び掛ける運動などを通じて、地域に密着した団体として住民自治意識の高揚と地域社会の発展に寄与することを目的に様々な事業を実施しています。

今後は、地域コミュニティの中核をなす自治会として、引き続き地域課題の解決に向けた取り組みを行うとともに、市や関係団体等と連携・協力しながら安全・安心で魅力ある地域づくりに努めていきます。

東日本大震災における共助

平成23(2011)年3月11日14時46分、東日本大震災がもたらした地震による液状化現象により、家屋の傾きや上下水道の不通等が発生し、多くの市民生活に影響が出るなど浦安市域は甚大な被害を受けました。

市内では、様々な被害状況がある中で、被害が著しい地区では、住民の安否確認や噴出土砂の撤去、簡易トイレの配布など自治会による様々な活動が行われました。

また、被害が少なかった地区でも、震災直後の炊き出しや洗濯機の使用提供、閉店した銭湯を再開してお風呂の提供を行うなど、地域を越えた共助の活動が数多く見られました。

この災害を教訓に、将来発生するかもしれない災害を減災するため、日頃から有事の際の状況を念頭に置いた訓練を行うなど、自治会における防災活動と共助の大切さを改めて心に刻みました。

新型コロナウイルス感染症の渦中における自治会活動

令和2(2020)年1月、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されました。新型コロナウイルスの感染力はとて強く、感染者が日本全国で急増する事態となりました。感染対策を講じるため、マスクの着用とアルコール消毒の徹底が呼びかけられ、密閉・密集・密接を避ける生活様式が基本となりました。

これは自治会活動においても同様で、総会や定例会、人が多数集まる会議は、対面での開催を控え書面開催やオンライン開催となり、自治会まつりや餅つき大会など、イベントの多くは中止を余儀なくされました。

一方で自治会同士の情報交換の重要性は増し、新たに意見交換会を開催したり情報技術を積極的に取り入れ課題解決に役立てたりするなど、日頃の活動を見直すきっかけにもなりました。

コロナ禍における自治会活動は制約も多く、何をすることも苦勞しましたが、様々な感染対策やイベント形態の工夫をすることで活動を再開する自治会が徐々に増えていき、久しぶりに会えた喜びに溢れる笑顔も数多く目にしました。

自治会にとっては、自治会活動を通じて人とひとが直接顔を合わせることの大切さや重要性を改めて感じる機会となりました。

自治会連合会の活動紹介

自治会連合会では、納涼盆踊り大会の開催や「火の用心」地域見守り運動等の活動のほか、新任自治会長向け研修や意見交換会の機会を通じて自治会長同士の交流を図っています。

また、自治会や住民同士の繋がりを深め、豊かな地域コミュニティを形成することを目的として防災訓練や花火大会、各団体の募金活動等の事業に協力しています。

自治会連合会活動	
4月	
5月	・総会 ・赤十字募金(協力)
6月	・会長懇談会 ・新任自治会長向け研修
7月	・勉強会・研修会 ・浦安市花火大会(協力) ・社会福祉協議会募金(協力)
8月	・納涼盆踊り大会
9月	
10月	・赤い羽根募金(協力)
11月	・「火の用心」地域見守り運動 ・意見交換会 ・浦安市総合防災訓練(協力)
12月	・歳末助け合い運動(協力)
1月	・表彰式 ・新年懇親会
2月	・東京ベイ浦安シティマラソン(協力)
3月	

総会・定例会

総会は、浦安市自治会連合会の最高議決機関であって、定期総会は毎年5月に開催し、前年度事業報告及び決算並びに会計監査報告のほか、当年度事業計画及び予算や役員を選任などを審議します。

定例会は、8月と1月を除く毎月第2水曜日を基本に開催し、自主事業の説明や報告、各種実行委員の選出といった連合会運営に必要な事項を審議するほか、自治会長同士で情報を共有する機会にもなっています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、令和3年度以降は、対面式で開催していた定例会を会場参加とオンライン参加を併用して実施しています。



会長懇談会

毎年、各自治会の総会により、新しく自治会長及び役員が就任される6月に自治会長同士の交流を図ることを目的に「会長懇談会」を開催しています。

参加された多くの自治会長からは、他の地区の自治会長と交流や親睦を深めることができよかったなどの声が寄せられ、新たな繋がりができる良い機会となっています。



意見交換会

自治会長同士の連携や親睦を深め、自治会相互で情報交換することを目的に、令和4(2022)年度から「意見交換会」を開始しました。

意見交換会では、4～5自治会ごとのグループに分かれて、自治会事業の情報交換のほか、各自治会が抱えている悩みごとや相談ごとに対する成功事例を共有し、自ら課題解決に向け取り組んでいます。

このほか、毎年、約半数の自治会で会長、役員が交代する状況を踏まえ、新任自治会長向けに自治会連合会や単位自治会の活動紹介を行う「新任自治会長向け研修」を実施しています。

また、市長による基調講演など市政の状況を周知する機会にもなっています。



表彰式・新年懇親会

自治会活動の発展に寄与された方々を表彰するため、役員経験や在任期間等に応じた表彰規程に基づき、平成5(1993)年から「表彰式」を開催しています。

また、各地区の自治会役員や関係団体等が参加する「新年懇親会」では、参加者同士が交流を深め、自治会活動における情報交換を行うことで今後の活動に活かす機会になっています。

平成25(2013)年の自治会連合会設立50周年記念式典から、これまで別々に開催していた表彰式と新年懇親会を同時に開催しています。



「火の用心」地域見守り運動

市では、空気が乾燥し、火災が多くなる11月15日から翌年4月15日までを火防期間としており、自治会連合会では、町を火災から守ろうという住民の自主的な申し合わせから昭和50(1975)年「『火の用心』夜間路上禁煙運動」が始まりました。

この運動は、明治時代の大火をきっかけに郷土愛に満ちた伝統ある運動として引き継ぎながら、令和5(2023)年度からは、「『火の用心』地域見守り運動」と名称を変更し、横断幕や街頭キャンペーンによる啓発活動を通じて、防火の徹底を広く呼びかけています。

さらに、各自治会においては、夜回りやパトロールの実施など防災・防犯啓発活動にも取り組んでいます。



盆踊り大会

夏の風物詩として市内の神社や寺院でそれぞれ行われていた盆踊り大会ですが、年々華美になり寄付などの負担も大きくなってきたため、昭和48(1973)年から自治会連合会の主催で統合して開催することになったものです。

以来半世紀にわたり、伝統と文化の継承のみならず、市民の融和及びふるさと意識の高揚を図り、住民相互の親睦の場となるよう、各自治会をはじめとした多くの関係者のご協力のもと、毎年8月14日、15日に開催しています。



協力事業

少子高齢化が進展し人口構造が変化していく中、交通安全や防災・防犯、ゴミなどの環境問題に加え、高齢者の見守りや地域での子育てといった地域が抱える課題が多様化・複雑化しています。

自治会連合会では、市や市民活動団体など関係主体と様々な地域活動を通じて交流を持ち、これら地域の課題解決に向けた各種事業の趣旨に賛同し、協力を行っています。

主な協力事業として、ごみゼロ運動をはじめ、浦安市総合防災訓練や浦安市花火大会、東京ベイ浦安シティマラソンのほか、各種募金活動などに協力しています。その他、関係主体の審議会・実行委員会など地域住民の代表として自治会連合会から参加しています。



浦安市自治会連合会 歴代会長

代	会長名	所属自治会	就任期間
初代	小沢節夫	第5区自治会	昭和38年～昭和44年
2代	谷尾定吉	第1区自治会	昭和44年～昭和49年
3代(会長代理)	金子四郎	第8区自治会	昭和49年～昭和50年
4代	長谷川雄治郎	第3区自治会	昭和50年～昭和51年
5代	岩田光雄	第10区自治会	昭和51年～昭和52年
6代	越智美吉	富岡自治会	昭和52年～昭和53年
7代	稲垣清	第5区自治会	昭和53年～昭和54年
8代	増田元一	第8区自治会	昭和54年～昭和55年
9代	岡本隆雄	鉄鋼通り自治会	昭和55年～昭和56年
10代	吉岡金弥	第9区自治会	昭和56年～昭和57年
11代	寺田富雄	パークシティ弁天自治会	昭和57年～昭和58年
12代	宮武勝見	海楽パークシティ自治会	昭和58年～昭和60年
13代	篠沢栄寿	第3区自治会	昭和60年～昭和61年
14代	大須賀稔	コモンシティ浦安自治会	昭和61年～昭和63年
15代	斎藤金次郎	第2区自治会	昭和63年～平成2年
16代	川村四郎	パークシティ弁天自治会	平成2年～平成4年
17代	小泉芳雄	海楽中央自治会	平成4年～平成7年
18代	田中榮二	富岡エスレート自治会	平成7年～平成9年
19代	木ノ内八郎	入船中央エスレート自治会	平成9年～平成10年
20代	保戸田松夫	富士見三丁目自治会	平成10年～平成13年
21代	岡本孝夫	堀江中央自治会	平成13年～平成18年
22代	彦田義夫	猫実四丁目自治会	平成18年～平成20年
23代	上野菊良	ベイシティ浦安自治会	平成20年～平成28年
24代	佐久間清	堀江五丁目自治会	平成28年～令和2年
25代	石川正純	入船自治会	令和2年～現職

— 60周年記念事業の推進体制 —

実行委員会

委員長 石川正純
 委員 塩谷祐司
 委員 柘敏雄
 委員 千葉忠彦
 委員 大塚豊彦
 委員 前田政和一
 委員 亀井克彦
 委員 長尾公彦
 委員 早川恵司
 委員 大塚真理子
 委員 毛利勇

記念冊子部会

部会長 柘敏雄
 委員 石川正純
 委員 塩谷祐司
 委員 大塚豊彦
 委員 大塚真理子
 委員 伊藤英樹
 委員 谷口久美子
 委員 ランジャン善子

表紙／後藤正生・足立素夫

(敬称略、順不同)